

ゲーム① わたしの正体は・・・

どのカードを選んだのかを当てるゲーム。
描かれていることについて質問をしながら、
カードの正体を探る。

【高めたい力&育みたい力】

色や形、描かれているものの特徴をとらえる
観察力や、言葉で伝える表現力を高めます。

【ルール】

- 1) 鬼は並べられたカードを見て、作品を1つ選ぶ。その間はほかの人に見られないようにする。じっくり確認したら選んだカードは、元に戻す。
- 2) 解答者は順番に作品について鬼に質問をする。鬼は「はい」、「いいえ」で答える。
- 3) 全員が質問し終わったら、解答者は並べられたカードの中から鬼が選んだと思うカードを一齐に指さす。
- 4) 正解者は、カードをもらう。正解者が複数いた場合はじゃんけん。(全員不正解の場合は、さらに質問を続ける。)
- 5) 次の順番の人が交代で鬼になる。最後にたくさんカードが集まった人の勝ち。

◆楽しむために…

- 2組ある場合は、1組は解答用として表向きに並べておく。もう1組は山札にして、鬼に山札から1枚引かせてもよい。鬼は何が当たるかわからない楽しさもある。



ゲーム② ジェスチャーゲーム

描かれていることから受ける印象を体のポージングや動き、表情で表現する。

【高めたい力&育みたい力】

作品を観察して特徴をとらえ、身体表現することで表現力が身につきます。また、コミュニケーション能力を高めます。

【ルール】

- 1) 鬼の順番を決める (鬼:ジェスチャーをする人)
- 2) 鬼は並べられたカードを見て、作品を1つ選ぶ。その間はほかの人に見られないようにする。
- 3) 作品の特徴や感じた印象を体のポージングや動き、表情で表現する。(制限時間を30秒～1分など決める。)
- 4) 正解した人は得点としてカードをもらう。
- 5) 次の順番の人が交代で鬼になる。最後にたくさんカードが集まった人の勝ち。

◆楽しむために…

- 作品は人物だけでなく、風景や抽象作品を混ぜ合わせる。鬼がそれらをどのように身体表現するのかが楽しむポイントとなる。作品から受ける印象をダンスで表現してもおもしろい。
- 2組ある場合は、1組は解答用として表向きに並べておく。もう1組は山札にして、鬼に山札から1枚引かせてもよい。鬼は何が当たるかわからない楽しさもある。

